

ALL JAPAN CHEER DANCE CHAMPIONSHIP 2019

第19回全日本チアダンス選手権大会・第17回全日本学生チアダンス選手権大会

競技規定



目次

01. 参加資格・編成（年齢）
02. 実施部門・人数
03. 演技内容
04. 各ダンスカテゴリー説明
05. 競技エリア
06. 競技時間
07. 音楽
08. 衣装
09. 手具
10. 安全規定
11. 競技の中断
12. 演技内容申請について（Cheer Dance 部門のみ申請）
13. 得点・順位に関して
14. 予選通過に関して
15. 入賞・表彰に関して
16. トライアル部門に関して

※下線は2018年からの改訂・追記事項です

01. 参加資格・編成（年齢）

2019年4月2日の時点で下記のメンバーで編成したチームであること

2019年度より高校生以上の編成において年齢の下限が設定されたので注意すること

- Mini 編成 : メンバーが小学4年生以下で編成したチーム
- Youth 編成 : メンバーが小学6年生以下で編成したチーム
- 中学生編成 : 同一の学校に在籍している中学生で編成したチーム
もしくはメンバーが中学生以下で編成したチーム
- 高校生編成 : 同一の学校に在籍している高校生で編成したチーム
もしくはメンバーが中学生以上、高校生以下で編成したチーム
- 大学生編成 : 同一の学校に在籍している大学生(大学、大学院、短期大学及び高等専門学校の第4,5学年)で編成したチーム
もしくはメンバーが高校生以上、大学生以下で編成したチーム
- 一般編成 : 上記以外、14歳以上で編成したチーム

02. 実施部門・人数

- Pom 部門 【Mini 編成・Youth 編成・中学生編成】(Small 5名～9名 / Medium 10名～14名 / Large 15名～)
【高校生編成】(Small 5名～10名 / Medium 11名～17名 / Large 18名～)
【大学生編成】(Small 5名～14名 / Large 15名～)
【一般編成】 (5名～)
- Cheer Dance 部門 【Mini 編成・Youth 編成・中学生編成・高校生編成・大学生編成・一般編成】(5名～)
- Hip Hop 部門 【Youth 編成・中学生編成・高校生編成・大学生編成・一般編成】(5名～)
- Jazz 部門 【Youth 編成・中学生編成・高校生編成・大学生編成・一般編成】(5名～)
- トライアル部門 【全編成】※各予選大会にて実施

- 人数は5名以上で編成すること（人数の上限無し、30名以上のエントリー可）
- 5名未満でのエントリー不可
- エントリー後、万が一怪我などの理由で人数が5名未満になった場合、予選・決勝共に出場可能だが1名につき2点の減点となる
- 年齢混合チームに関しては、割合に関わらず最年長者が所属する編成でのエントリーとなる
例：小学生と中学生の混合チーム→【中学生編成】にエントリー
- 予選、決勝共にエントリーチーム数によっては異なる部門、編成を一つにまとめることがある
例) Hip Hop 部門 Youth 編成と Jazz 部門 Youth 編成⇒Open 部門 Youth 編成
- 部門の統合は全チームのエントリー終了後(7/5以降)HPにて発表する

● 重複エントリーに関して

- 同一選手が重複エントリーする場合は、2チームまで可（トライアル部門も含む）
例) Pom 部門 / 高校生 Small 編成と トライアル部門 Cheer Dance / 高校生編成の重複エントリー可
- 同一選手は同部門の他編成（年齢による区分けのみ）で重複エントリーすることは可
例) Pom 部門 / Mini Small 編成と Pom 部門 / Youth Small 編成のエントリー可
例) Pom 部門 / Mini Small 編成と Pom 部門 / Mini Large 編成のエントリーは不可
- 同チームで複数の部門に出場する場合は、それぞれエントリーすること
例) Pom 部門と Cheer Dance 部門にエントリーする際は、エントリーフォームを2回送信

● 補欠について

- 補欠選手の申請は専用ページから申請
- 補欠選手は2名まで申請可
* 補欠選手はあくまで大会出場選手が怪我などのやむを得ない時の交代として登録してください
- 予選、決勝ともに補欠選手が出場することにより、登録選手数を増やすことは不可
例) 出場選手登録10名、補欠選手登録2名を行った場合、12名で演技することはできません
- 決勝エントリーは予選大会において出場選手及び補欠選手に登録した者のみ登録可

03. 演技内容

- 全部門、家族が観る大会に相応しい演技内容（振り付け、音楽、衣装）を考慮し、構成すること
- 競技者の年齢を考慮し、各年齢に見合った演技内容で構成すること
- 詳細は別途部門毎に定めた「演技規定」を確認すること

04. 各ダンスカテゴリー説明

- Pom
クリーンでタイトなストレートモーションを中心としたダンス
チームのレベルに適したダンス技術、ボディコントロール、アイソレーション、フロアワーク、テクニカルスキルの正確な実施が求められ、一体感、同調性、均一性を重視する
振り付けには音楽性、多様なフォーメーション、スムーズな移動、視覚的効果（高低差、左右対称、グループワーク、パートナーワーク、フロアワークなど）を取り入れた創造性が求められる
- Hip Hop
ストリートスタイル（Hip Hop・Locking・Breaking など）の動きとリズムを取り入れたダンス
チームのレベルに適したダンス技術、ボディコントロール、アイソレーション、フロアワークの正確な実施が求められ、一体感、同調性、均一性を重視する
振り付けには音楽性、多様なフォーメーション、スムーズな移動、視覚的効果（高低差、左右対称、グループワーク、パートナーワーク、フロアワークなど）を取り入れた創造性が求められる
- Jazz
バレエを基礎とするしなやかで流れるような動きを中心としたダンス
チームのレベルに適したダンス技術、ボディコントロール、アイソレーション、フロアワーク、テクニカルスキルの正確な実施が求められ、一体感、同調性、均一性を重視する
振り付けには音楽性、多様なフォーメーション、スムーズな移動、視覚的効果（高低差、左右対称、グループワーク、パートナーワーク、フロアワークなど）を取り入れた創造性が求められる
- Line Dance
肩を組むまたは腰に手を添えるなど選手がつながって行うキックのコンビネーション
美しいライン（隊列）、正しい姿勢、正確なキックの実施、キックのパリエーションが求められ、チームの一体感、同調性、均一性が重視される
横1列もしくは前後2列のライン（隊列）を組み、選手が16カウント以上つながり、少なくとも4本以上のキックを行うこと

05. 競技エリア

- 原則として横20m × 奥行15mとし、フロアには縦と横にセンターラインが引かれる
- 演技は競技エリア内で行い、途中入退場は不可（全選手が競技エリア内で静止した状態から開始、終了すること）
- 選手以外が競技エリアへ立ち入ることは不可

06. 競技時間

- 【Mini 編成】 ...Pom 部門 1分45秒～2分00秒以内
...Cheer Dance 部門 2分00秒～2分30秒以内
- 【Youth 編成】 ...Pom 部門・Hip Hop 部門・Jazz 部門 1分45秒～2分00秒以内
...Cheer Dance 部門 2分00秒～2分30秒以内
- 【中学生編成】【高校生編成】【大学生編成】【一般編成】 ...全部門 2分00秒～2分30秒以内
<違反の場合は2点減点>
- トライアル部門は構成する部門編成の競技時間に準ずる
- 競技時間の測定のタイミングは音楽又は動きの始まりから音楽又は動きの終わりまでとする
- 入退場の時間は競技時間に含まないが合わせて30秒以内で速やかに行うこと
- ±5秒の誤差は減点対象とならない（但し演技は必ず競技時間規定内で作成すること）

07. 音楽

- 演技に使用する音楽は家族が観る大会に相応しく歌詞の内容にも注意すること
- 海外の楽曲など不適切な歌詞が入った音源や、違法にダウンロードされた音源に関しては警告または減点となる<違反の場合は2点減点>
- 演技が無音（音の無い状態）で行われる場合は音源にも無音の状態を入れて作成すること
- 音楽に関しては事前に使用曲申請書（全部門）／演技内容構成表（Cheer Dance 部門のみ）を提出すること

08. 衣装

- 全部門衣装は原則的に自由とするが、競技者の年齢や演技内容、各部門の特性を活かせるものが望ましい
- 競技者としての品位（清潔感、メイク髪型などの身だしなみ、着用の仕方）を損なうものは避け、家族が観る大会に相応しい衣装を正しく着用すること
- 衣装に関しての減点が行われないが、審査員の判断のもとスコアシートの点数に反映される
- 競技中に外れる、また体を傷付ける恐れのあるアクセサリーの着用禁止（指輪・ピアス・ブレスレット・ネックレス・ボディピアスなどはテープや他の方法で覆い隠して着用することも禁止）
- アクセサリーは外れたり体を傷付けたりする恐れのないよう充分に考慮されたもの（チョーカーやヘアアクセサリーなど）のみ衣装の一部として着用可<違反の場合は2点減点>
- シューズは各部門の演技内容及び衣装に見合ったシューズを着用することが望ましい
- シューズの着用にあたっては摩擦や怪我の防止など安全面を充分考慮すること
- 靴下のみを着用や床を傷付ける靴（ヒールのあるもの）の着用は禁止<違反の場合は2点減点>

09. 手具

- Pom 部門においては Pom 以外の手具の使用は不可
- Pom 部門以外の部門で手具を使用する場合は、基本手に持つタイプのは可（ハットや衣装の一部を取り外して使用するなど可）
- 手具の使用にあたっては部門毎に異なるため必ず演技規定を確認すること
- 演技中にフロアや体を傷付ける恐れのあるものや、大道具としての役割を持つものは不可（傘、椅子、選手を覆う布など不可）
- 演技の途中で Pom または手具を持つ場合は競技エリア内に準備をすること
- 演技の途中で使用しなくなった Pom または手具を置く場合は、Pom または手具が競技エリアの外に出ても良い

10. 安全規定

- 全ての演技は選手の年齢やスキルを考慮した上で構成し、演技にあたっては安全で怪我の無いよう十分に注意すること
- 安全規定の詳細は部門や編成ごとに異なるため、必ず詳細を「演技規定」で確認すること
- 不明な点は事前に協会事務局に問い合わせること
(質問の回答を受けるチーム代表者連絡先を明記の上、動きを録画した DVD・映像データを協会事務局宛に郵送、またはメールすること)

11. 競技の中断

- 選手の怪我や音楽の不備などにより審査員が競技の続行が危険、もしくは不可能と判断した場合、競技を中断させることがある
- 競技の再開や再演技のタイミングはチームに確認のうえ、審査員の判断により行われる
- 競技の再開は演技の最初から1曲通して行われるが、審査は中断された以降を対象とし、それまでの審査及び減点は再演技前のものが反映される

12. 演技構成表の提出について（Cheer Dance 部門のみ）

- 審査員がカテゴリーを正確にジャッジするために、事前に演技内容構成表を提出するものとする
- カテゴリーごとに演技構成の順を追って、演技秒数を記入すること
記入例：Pom 40 秒⇒Line20 秒⇒Hip Hop30 秒⇒Jazz45 秒 《Total2 分 15 秒》
- 演技構成上、無音（音の無い状態）で演技を行う場合はその秒数も含めること
- Total Time は必ず競技時間規定の2分～2分30秒以内とすること
例：1分58秒や2分32秒での提出は不可

13. 得点・順位に関して

- チームの総合得点は100点を満点とし、総合得点の算出方法は以下の通りとする
 - 1.) 各審査員がそれぞれ100点満点で採点
 - 2.) チームの合計点を審査員の数で割った平均点を算出
 - 3.) 平均点より違反による減点を引いたものをチームの総合得点とする
- 順位は各部門とも高得点順とし、同得点の場合は同順位としてそれ以降の順位は繰り下げとする
- 予選大会の審査は3名で行う
- 決勝大会の審査は6名で行い、最高点・最低点を除いた4名の審査員の得点がチームの総合得点に反映される

14. 予選通過に関して

- エントリー終了後、予選大会毎に事前に予選通過枠数を定める（通過枠数の発表は7月末頃を予定）
- 全予選通過チームは以下の通過基準点を満たしているものとする
【Mini編成】【Youth編成】全部門 70点以上
【中学生編成】Hip Hop部門・Jazz部門 70点以上／Pom部門・Cheer Dance部門 75点以上
【高校生編成】【大学生編成】【一般編成】全部門 75点以上
- 通過枠数内で同順位の場合は両チームを通過とする（それによりそれ以降の予選の通過枠数が減少することはない）
- 各予選大会において通過枠数とは別に通過基準点に達したチームに審査員推薦を設けることがある
- 全予選大会終了後に事前に発表した通過枠に満たない部門があった場合は、通過基準点に達している部門次点チームを繰り上げて通過とする（繰り上げの通過がある場合は全予選大会終了次第HPにて発表）
- 人数による区分けのある部門編成の予選通過は以下の手順で決定する
(該当部門：Pom部門 Mini/Youth/中学生/高校生/大学生編成)
 - ① 部門編成（年齢）最多通過枠数を決定する
 - ② 編成（人数：Small/Medium/Large）ごとに通過枠数を決定する
 - ③ 部門編成（年齢）最多通過枠数から各編成の通過枠数を引く
 - ④ 残る枠数は部門編成（年齢）の通過基準点に達した高得点順に振り分ける

15. 入賞・表彰に関して

- 予選大会においては各部門上位チームに入賞及び特別賞を授与する
- 決勝大会においては【Mini編成／Youth編成】及び【中学生編成／高校生編成／大学生編成／一般編成】において、それぞれ入賞と各特別賞を授与する
- 本年度より編成（年齢）毎に、その編成内で最高得点を獲得したチームに最優秀チームとして編成毎のチャンピオンを授与する
最高得点が同点の場合、決勝審査員の全ての得点を反映し決定するが、それでも同点の場合はジャッジミーティングにより決定する
(本年度より決勝一日目の部門優勝チームによる再演技は行いません)
- 入賞、特別賞の詳細は、全エントリー終了後に協会HPにて発表する

16. トライアル部門に関して

- トライアル部門のエントリーは各予選大会に限る
- 過去の大会参加（競技部門・トライアル部門）に関わらず、全チームエントリー可
- 各競技部門の規定に沿った演技内容（競技時間や手具の使用、安全規定など）で構成すること
- 競技部門に無い編成でのエントリーも可、但し演技は競技部門の規定に沿った内容で行い、安全面にも充分に考慮すること
例) Jazz部門 Mini編成／Hip Hop部門 Mini編成
- 入賞表彰は行われませんが、審査員による演技評価コメントシートが渡される